

- 2 巻頭言
- 6 ペルシア詩に見る「共感覚Hiss-āmizī」の諸相  
——ジャラルッディーン・モハンマド・バルヒー・ルーミー  
Jalāl al-Din Muḥammad Balkhī Rūmī (一二七三年没) の詩  
作を読み解くための一つの視点  
藤井守男
- 19 記憶のオセロゲーム  
——『ドン・カズムツホ』と自伝的記憶  
武田千香
- 37 「非我」のなかの「真」  
——『三四郎』『それから』の「空気」と「気分」  
柴田勝二
- 62 事象との邂逅  
——竹中郁の初期詩篇における感覚についての断片的覚書  
陶山大一郎

報告

- 90 「もっと海を！」 Mehr Meer—ヨーロッパで多言  
語世界の文学を考える  
対談・朗読 イルマ・ラクーザ × 多和田葉子  
山口裕之

新刊紹介

- 102 アントニオ・タブッキ著／和田忠彦訳  
『夢のなかの夢』  
夢の帰属  
石井沙和
- 104 武田千香著  
『千鳥足の弁証法—マシャード文学から読み解くブラジル』  
サンバを踊る哲学  
福嶋伸洋